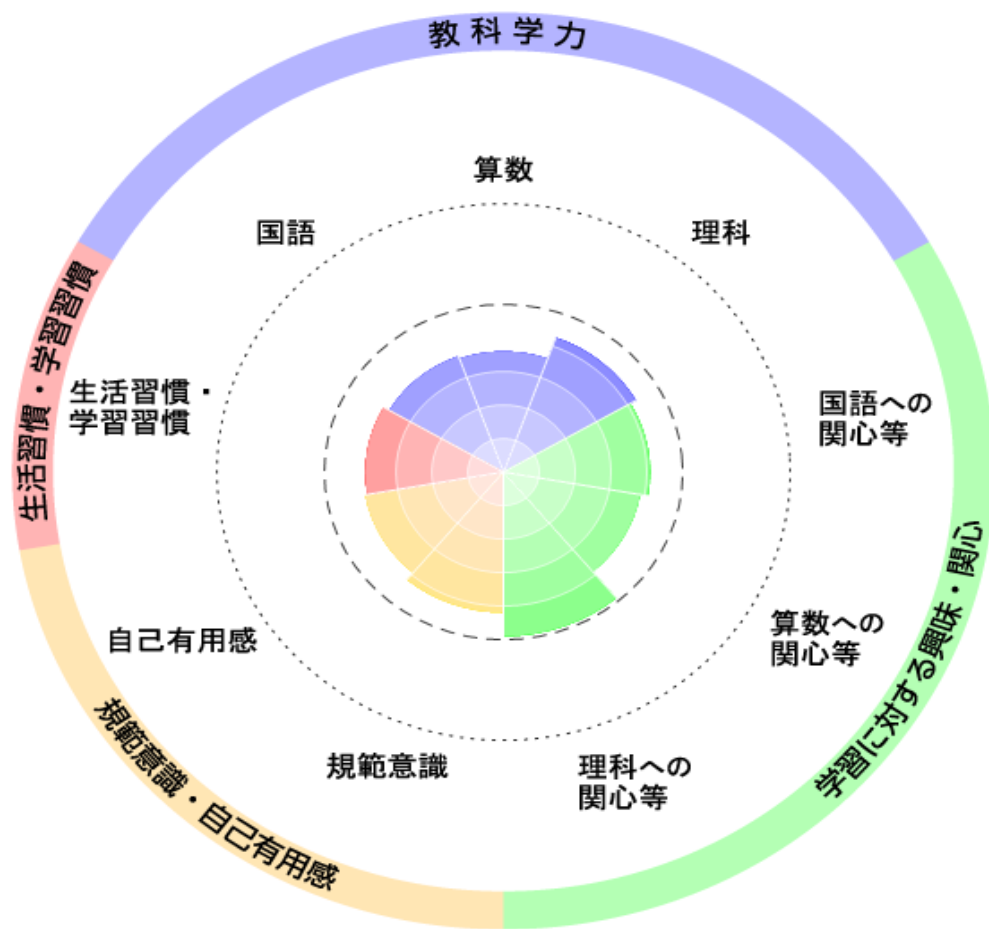


令和4年度 全国学力・学習状況調査 児童質問紙（全国基準と比較した本校の結果）



【考察】

○児童質問紙では、「規範意識」「自己有用感」「生活習慣・学習習慣」ともに全国平均を下回っている。各教科の授業の中ではもちろん、可能な範囲での行事や委員会活動、学級活動や清掃活動、他学年との交流等を通して、自己有用感を育てていく必要がある。

○国語や算数の学習に対する興味・関心が低い。

国語では読書科を通して、日頃から読書に親しみ、読書における探究活動を進めていく。

算数では、日常的に算数的活動を取り入れ、算数への興味・関心を育てるとともに、基礎基本の時間やICTを活用した家庭学習を通して反復学習をすることで基礎力の定着を図っていく。習熟度別の少人数指導を行い、習熟度に応じた丁寧な指導を行っていく。

「理科への関心」は全国平均とほぼ同じだった。今後も学校の特色である農園での体験活動等を通して自然と触れ合わせ、理科への興味・関心をさらに深めていく。